

金沢動物園における 2022 年度鳥類層調査報告

○須藤一行

(公財) 横浜市緑の協会 横浜市立金沢動物園

横浜市立金沢自然公園内の金沢動物園において、正午の鳥類層把握を目的として調査を行った。ラインセンサス法にて1年間に9回の調査を行った結果、20種が確認された。優占種はヒヨドリ、シジュウカラ、ハシブトガラスで、上位3種だけで6割弱を占めていた。また、調査結果を2021年度に行った同園内の早朝の鳥類層把握を目的とした調査と比較した結果、確認された種数の減少や特定の種の観察頻度の向上が確認された。